

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↘ 36	65	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 5	1	ヘルパンギーナ	↗ 132	84
咽頭結膜熱	↗ 37	26	流行性耳下腺炎(おたふくぜ)	↘ 8	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 82	97	急性出血性結膜炎	↗ 1	0
感染性胃腸炎	↘ 268	335	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 9	4
水痘	↘ 68	105	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 403	257	無菌性髄膜炎	↗ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 3	1	マイコプラズマ肺炎	→ 3	3
突発性発しん	↗ 63	44	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- 手足口病
- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ

- 手足口病は、報告数 403 件(前週報告数 257 件)と増加。地区別では、菊池、水俣、天草に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の154件を最多に主に6歳以下からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数 268 件(前週報告数 335 件)と減少。地区別では、有明、菊池、山鹿に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の49件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- ヘルパンギーナは、報告数 132 件(前週報告数 84 件)と増加。地区別では、菊池、八代、天草に多く報告がみられます。年齢別では 1歳の41件を最多に主に5歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	0.28	0.00	0.50	1.88	4.44	1.31	11.13	0.00	1.19	0.00	2.19	0.00	0.20	1.60	0.00	0.20	0.00	0.00
山鹿保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	8.00	0.00	9.50	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	*	*	0.00	0.00	0.00	0.00
菊池保健所	0.13	0.40	3.20	5.40	8.80	3.20	13.00	0.00	4.00	0.00	5.20	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
阿蘇保健所	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	*	*	0.00	0.00	0.00	0.00
御船保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	*	*	0.00	0.00	0.00	0.00
八代保健所	0.71	0.00	0.00	0.25	6.75	0.25	1.25	0.00	0.75	0.00	4.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水俣保健所	0.00	0.00	0.50	0.50	5.00	0.50	13.00	0.00	0.50	0.00	1.00	0.50	*	*	0.00	0.00	0.00	0.00
人吉保健所	0.00	0.00	0.00	0.67	5.33	2.67	5.33	0.67	1.67	0.00	0.67	0.67	*	*	0.00	0.00	0.00	0.00
有明保健所	0.13	0.60	1.00	0.20	10.00	0.00	6.20	0.20	1.20	0.00	3.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
宇城保健所	3.67	0.00	0.75	2.50	4.25	4.00	3.75	0.00	1.50	0.00	3.75	0.25	*	*	0.00	0.00	0.00	0.00
天草保健所	0.00	0.00	1.00	2.00	1.50	1.25	12.00	0.00	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	3.00	0.00
平均	0.45	0.10	0.74	1.64	5.36	1.36	8.06	0.06	1.26	0.00	2.64	0.16	0.11	1.00	0.00	0.07	0.20	0.00

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	36			2			2	2				2	3	10	10		3	1	1			
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	5	1	2	1											1							
咽頭結膜熱	37		1	13	5	5	5	4	3			1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	82	1			3	4	10	19	14	11	7	3	8		2							
感染性胃腸炎	268	4	30	49	22	27	22	16	12	9	15	6	33	4	19							
水痘	68		3	15	19	13	4	6	2	1		2	1	2								
手足口病	403	6	56	154	81	46	27	17	6	1	2	3	2	2								
伝染性紅斑	3		1	1	1																	
突発性発しん	63	4	33	24	2																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	132	5	21	41	26	18	10	5	2	1		3										
流行性耳下腺炎	8			1	1	1		2	2	1												
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	1															1						
流行性角結膜炎	9						1	1					1	1	1	1		1	2			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1								1													
マイコプラズマ肺炎	3						1							1		1						
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 水痘 : 菊池
- 手足口病: 熊本市、山鹿、菊池、水俣、人吉、有明、宇城、天草

【手足口病の患者報告数が警報レベルを超えています】

先週に引き続き、手足口病、ヘルパンギーナの報告数が増加傾向にあります。特に、手足口病については、先週県全体の一定点あたりの患者報告数が、国が定める警報基準値を超えました。今週もさらに増え、先週の約1.6倍となりました。阿蘇、御船、八代以外の地域では警報レベルを超えています。年齢別発生状況を見ると、生後6か月から6歳にかけて多く発生しています。また、警報レベルには達していませんが、ヘルパンギーナも増加傾向にあり、注意が必要です。どちらの病気にも共通して言えますが、原因となるウイルスにはいくつかの型がありますので、何度もかかってしまうことも珍しくありません。そのため、予防対策は引き続き行いましょう。

- 【ヘルパンギーナとは】
潜伏期間:2~7日
特徴:突然39℃前後の高熱、強いノドの痛みやノドの奥に水疱や浅い潰瘍が出来る。
この水疱がつぶれたり、また潰瘍ができるノドがしみて、唾液を飲み込むのもつらくなります
感染経路:飛沫感染(空気感染)か、便に排泄されたウイルスからの経口感染 ※手足口病も同じ感染経路です。
- 【予防のポイント】
・手洗い・うがいを行いましょ。
・便にもウイルスがあるので、こどもの排泄後はしっかり手洗い・手指消毒をするように指導し、赤ちゃんのおむつ交換の後は、しっかりと手洗い・手指消毒をしましょ。
・近所で流行っている場合には、おもちゃの貸し借りにも注意しましょ。

